

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者<sup>※</sup>の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<b>&lt;研究課題名&gt;</b> 慢性特発性蕁麻疹患者におけるオマリズマブの有効性の解析
<b>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 皮膚科 (研究責任者) 葉山 惟大
<b>&lt;研究期間&gt;</b> 承認日 ~ 令和 6 (西暦 2024) 年 3 月 31 日
<b>&lt;対象となる方&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院皮膚科で慢性特発性蕁麻疹の治療としてオマリズマブ(ゾレア <sup>®</sup> )を使用した方。
<b>&lt;研究の目的&gt;</b> 難治性の慢性特発性蕁麻疹の治療としてオマリズマブを使用しますが、その効果の程度には個人間に差があります。その効果の差(オマリズマブが効きやすいか効きにくい)を事前に予測するマーカーがないかを調べるのが目的です。
<b>&lt;研究の方法&gt;</b> カルテの情報からオマリズマブがどの程度効果があるのかを確認します。さらに通常診療で測定した血液検査の結果から予測マーカーになりうる因子の数値の変動を追ひ、オマリズマブの治療効果と照らし合わせることで予測因子を割り出します。
<b>&lt;研究に用いる試料・情報の項目&gt;</b> 予測因子の特定のために通常診療で測定した血液検査の結果および他の研究(慢性特発性蕁麻疹患者の病態生理解明のための観察研究: RK-230214-7)で測定した項目を使用します。また、オマリズマブの治療効果を確認するために診療記録を参照します。
<b>&lt;お問い合わせ窓口&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 皮膚科 氏名: 葉山 惟大 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2502/8659 (PHS) 8144